



健康経営優良 認定証を授与

県内計151法人

日本健康会議の「健康経営優良法人2025」に認定された県内企業を対象にした祝賀フォーラムが21日、西原町内で開かれた。写真。認定証の授与後に、社員の健康増進などの事例を共有した。

25年は県内から大規模法人部門で19、中小規模法人部門で132、合計で過去最多となる151法人が認定された。フォーラムに出席した沖縄総合事務局の長嶺さおり経済産業部長は「経営者、社員が丸となって健康経営を実践したことが評価された。健康経営は組織の持続的な成長や活性化につながる」と期待した。

上下水道施設など公共施設の管理を担う興南施設管理の担当者は禁煙サポート、体重や筋力などを継続的に測定するなどの取り組みを報告。「セミナーで学んだバランスの良い食事のため乾燥野菜の配布もしている。健康になり、業務の効率化にもつながっている」と話した。